

年金加入期間等報告書

ふりがな	きょうさい たろう		所属機関名	〇〇局									
組合員氏名	共済 太郎												
生年月日	昭和 〇〇年〇〇月〇〇日		基礎年金番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
年金加入期間	年金制度	資格取得年月日	資格喪失年月日	勤務先等					備考				
	<input checked="" type="radio"/> ア 国民年金 イ 第一号厚生年金 ウ 第二号厚生年金(国共済) エ 第三号厚生年金(地共済) オ 第四号厚生年金(私学共済) カ その他	昭 <input checked="" type="radio"/> 平 令 〇〇年〇月〇日	昭 <input checked="" type="radio"/> 平 令 〇〇年〇月〇日	学生									
	資格取得直前の加入状況は必ず記入してください。												
	<input checked="" type="radio"/> ア 国民年金 <input checked="" type="radio"/> イ 第一号厚生年金 ウ 第二号厚生年金(国共済) エ 第三号厚生年金(地共済) オ 第四号厚生年金(私学共済) カ その他	昭 <input checked="" type="radio"/> 平 令 〇〇年〇月〇日	昭 <input checked="" type="radio"/> 平 令 〇〇年〇月〇日	〇〇〇株式会社									
	<input type="radio"/> ア 国民年金 <input type="radio"/> イ 第一号厚生年金 ウ 第二号厚生年金(国共済) エ 第三号厚生年金(地共済) オ 第四号厚生年金(私学共済) カ その他	昭											
	①配偶者の扶養に入っていた場合は「ア 国民年金」を選択してください。 ②大阪市会計年度任用職員の場合や一般企業で勤務していた場合は「イ 第一号厚生年金」を選択してください。 ③大阪市職員の場合や大阪市以外の小中学校等で勤務していた場合は「ウ」「エ」「オ」のいずれかになります。												
	<input type="radio"/> ア 国民年金 <input type="radio"/> イ 第一号厚生年金 ウ 第二号厚生年金(国共済) エ 第三号厚生年金(地共済) オ 第四号厚生年金(私学共済) カ その他	昭・平・令 年 月 日	昭・平・令 年 月 日										
	<input type="radio"/> ア 国民年金 <input type="radio"/> イ 第一号厚生年金 ウ 第二号厚生年金(国共済) エ 第三号厚生年金(地共済) オ 第四号厚生年金(私学共済) カ その他	昭・平・令 年 月 日	昭・平・令 年 月 日										
離婚時みなし被保険者期間		昭・平・令 年 月 日	昭・平・令 年 月 日										
被扶養配偶者みなし被保険者期間		昭・平・令 年 月 日	平・令 年 月 日										
年金未加入期間等		昭 <input checked="" type="radio"/> 平 令 〇〇年〇月〇日	昭 <input checked="" type="radio"/> 平 令 〇〇年〇月〇日										
		昭・平・令 年 月 日	昭・平・令 年 月 日										
私の年金加入期間等は上記のとおりでありますから、報告します。 大阪市職員共済組合理事長 様 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日													
										〒 530-8201			
										住所 大阪市北区〇〇 〇-〇-〇			
										組合員			
										氏名 共済 太郎			
										連絡先(電話) 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇			

<年金加入期間等報告書の記入の際は、裏面をご覧ください>

- 1 「年金加入期間」欄には、大阪市職員共済組合の組合員となるまでの年金制度の加入期間等について、制度の種類ごとに、かつ、履歴順に次により記入してください。
 - (1) 「年金制度」欄は、該当する年金制度に○印を付してください。なお、旧農林漁業団体職員共済組合法、旧公共企業体職員等共済組合法の適用を受けていた期間については、「その他」に○印を付すとともに、これらの法令の名称を「備考」欄に記入してください。
 - (2) 国民年金の第1号被保険者期間がある場合は、「勤務先等」欄に、例えば、「学生」、「自営業」、「無職」等と記入してください。
 - (3) 国民年金の第3号被保険者期間がある場合は、「勤務先等」欄に「被扶養配偶者」と記入してください。
- 2 出向等により退職することなく他の地方公共団体等の職員となった場合には、その出向等の翌日をそれぞれ前の勤務先の「資格喪失年月日」欄及び後の勤務先の「資格取得年月日」欄に記入するとともに、共済組合の名称を「備考」欄に記入してください。
- 3 「離婚時みなし被保険者期間」欄には、離婚により第二号厚生年金(国共済)又は第三号厚生年金(地共済)の被保険者期間とみなされる期間を記入してください。

また、「被扶養配偶者みなし被保険者期間」欄には、被扶養配偶者であった期間が離婚により第二号厚生年金(国共済)又は第三号厚生年金(地共済)の被保険者期間とみなされる期間を記入してください。
- 4 「年金未加入期間等」欄には、20歳以上の期間のうち年金未加入期間がある場合は、その期間の始期を「資格取得年月日」欄に、終期を「資格喪失年月日」欄に記入してください。

また、「勤務先等」欄には、例えば、「学生」、「自営業」、「無職」等と記入してください。

参考

- 1 厚生年金の被保険者は、次の4種類に区分されています(厚生年金保険法第2条の5第1項)。
 - ア 第1号厚生年金被保険者
次のイからエまでに該当しない厚生年金保険の被保険者が該当します。
 - イ 第2号厚生年金被保険者
国家公務員共済組合の組合員が該当します。
 - ウ 第3号厚生年金被保険者
地方公務員共済組合の組合員が該当します。
 - エ 第4号厚生年金被保険者
私立学校教職員共済組合制度の加入者が該当します。
- 2 国民年金の被保険者は、次の3種類に区分されています(国民年金法第7条第1項)。
 - ア 第1号被保険者
日本国内に住所のある20歳以上60歳未満の人で、次のイ及びウに該当しない方が該当します。
 - イ 第2号被保険者
厚生年金保険の被保険者が該当します。
 - ウ 第3号被保険者
第2号被保険者に扶養されている配偶者で、20歳以上60歳未満の人が該当します。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。